

平成 17 年度大規模津波防災総合訓練の概要

1 . 訓練の目的

スマトラ島沖地震による津波災害を踏まえ、津波による被害軽減を目指して、和歌山県沿岸において、東南海・南海地震による津波を想定した大規模津波防災総合訓練を行います。住民の迅速な避難、的確な情報収集・伝達の訓練のほか、初めて孤立した地区の復旧支援対策の訓練（流出した車両など道路上の障害物の撤去、港の漂流物の撤去、ヘリコプターや巡視船等による海上漂流者救助、物資運送など関係機関が連携した実践型の訓練）を行います。

2 . 訓練の概要

2 - 1 訓練日時

平成 17 年 7 月 23 日（土） 9:00～12:00 を予定

2 - 2 訓練場所

御坊市日高港訓練会場

2 - 3 主催

国土交通省

2 - 4 協賛

内閣府

2 - 5 後援

（財）国土技術研究センター、（財）河川情報センター、（社）日本河川協会、（社）全国海岸協会、（社）全国防災協会、全国水防管理団体連合会、（財）沿岸技術研究センター、（社）日本港湾協会、（財）海上保安協会、（社）日本水難救済会、（財）気象業務支援センター、（財）日本気象協会、（社）日本測量協会、（社）近畿建設協会、近畿トラック協会、（社）和歌山県トラック協会（予定）

2 - 6 訓練参加機関・参加人員

近畿地方整備局、第五管区海上保安本部、大阪管区气象台、和歌山地方气象台、近畿地方測量部、近畿運輸局、近畿経済産業局、近畿管区警察庁、陸上自衛隊、和歌山県、和歌山県警察本部、大阪府、兵庫県、御坊市・田辺市を含む沿岸 13 市町、日本道路公団関西支社、関西電力㈱、西日本旅客鉄道㈱和歌山支社、（社）和歌山県トラック協会、御坊市・三尾・美浜町各漁業協同組合等

計 約 40 機関 約 6,000 人

津波訓練・御坊市会場(日高港)



3 . 訓練の概要

3 - 1 迅速な避難・的確な対応

住民の方が参加しての避難訓練

【御坊市会場付近の住民の方にご参加頂き、市指定の避難施設へ避難訓練、また、同時に田辺市、串本町など沿岸自治体でも住民の方に参加頂き、避難訓練を実施】

水門等操作訓練

【津波警報発表を受けての河川に位置する水門等の閉鎖訓練】

3 - 2 迅速な情報伝達・収集

情報伝達訓練

【気象庁が発表する津波警報等を防災関係機関、府県及び市町村等へ情報伝達する訓練】

情報提供訓練

【河川情報板、道路情報板を使用した津波の情報提供訓練】

広域情報収集訓練

【上空から各機関防災ヘリコプター、河川、港湾及び道路沿いに設置されているCCTVカメラを使用した広域の被災情報収集訓練】

施設被災状況点検訓練

【国土交通省所管である河川、道路、港湾施設の地上及び海上からの点検～報告訓練】

3 - 3 救難

海上漂流者救助訓練

【海上漂流者の救助訓練、救急及び搬送訓練】

車内に閉じこめられた人、倒壊家屋からの人命救助訓練

3 - 4 各機関連携した孤立地区対策

港湾啓開及び海上からの火災消火訓練

【漂流物の除去、港湾啓開訓練、船舶の火災消火訓練、排出油防除訓練】

道路啓開訓練

【津波によって車・土砂・ゴミ等で閉塞した道路の啓開訓練】

物資運送訓練

【ヘリコプター、船舶、自動車、水陸両用車等を使用して孤立状態の避難場所への物資運送訓練】

4 . その他

訓練に支障の無い範囲での取材は可能です。

三重県、高知県、徳島県においても津波避難訓練を同時開催します。

当日のタイムスケジュールや取材場所など詳細については、後日改めて発表します。